

罹患率・死亡率とも上昇している女性特有の乳がん・子宮がんの対策のため、がん検診による早期発見に取り組むとともに、原因としてウイルス感染が明らかになっている子宮頸がんについては、満10歳以上を対象とした子宮頸がんワクチンの予防接種に取り組む必要があります。

施 策

①県は、市町村と連携して、女性のためのがん検診推進事業を活用した無料クーポン券等の活用などにより、市町村におけるがん検診の受診率向上に取り組めます。

②県は、市町村と連携して、子宮頸がんワクチン予防接種の推進に取り組めます。

HPVワクチン接種率(保健所別)

	対象者数	被接種者数	接種率
和歌山市	6,939	5,558	80.1%
海南	1,116	1,047	93.8%
岩出	2,713	1,189	43.8%
橋本	1,779	1,567	88.1%
湯浅	1,686	1,382	82.0%
御坊	1,350	1,323	98.0%
田辺	2,762	1,802	65.2%
新宮	1,006	806	80.1%
串本	321	300	93.5%
県平均	19,672	14,974	76.1%

(平成23年度 保健所別接種率)

4. 小児がん対策

現状と課題

和歌山県がん対策推進条例では、小児がん対策について、次のように定められています。

【和歌山県がん対策推進条例】

(小児がん対策の推進)

第21条 県は、小児がん対策を推進するため、小児がんの実態把握の強化、小児がん診療に関わる医療関係機関の連携及び協力の促進など、必要な施策を実施する。

小児がんは、小児の病死原因の1位となっています。小児がんは、成人のがんと異なり生活習慣と関係なく、乳幼児から思春期、若年成人まで幅広い年齢に発症し、希少で多種多様ながん種が発症します。

小児がんの年間患者数は、全国で2,000人から2,500人ですが、小児がんを扱う施設は全国で約200程度と推定されていて、医療機関によっては少ない経験の中で医療が行われているなど、小児がん患者が必ずしも適切な医療を受けられていないことが懸念されています。

このため、国の基本計画では、取り組むべき施策として、全国の地域ブロック毎に小児がん拠点病院を指定し、専門家による集学的治療の提供、患者とその家族に対する心理社会的な支援、適切な療育・教育環境の提供、小児がんに関わる医師等に対する研修の実施、セカンドオピニオン体制整備、患者とその家族、医療従事者に対する相談支援等の体制を整備するとして、個別目標として次の目標を掲げています。

個別目標

- ・ 小児がん患者とその家族が安心して適切な医療や支援を受けられるような環境の整備を目指し、5年以内に、小児がん拠点病院を整備し、小児がんの中核的な機関の整備を開始することを目標とする。

各府県は、近隣府県のブロックに整備される小児がん拠点病院と連携し、小児がん患者が、発育時期を可能な限り慣れ親しんだ地域に留まり、他の子どもたちと同じ生活・教育環境の中で医療や支援を受けられるような環境を整備する必要があります。

県拠点病院の県立医科大学付属病院では、平成25年度に現在の小児科を強化し、総合的な小児医療を提供する「小児医療センター（仮称）」を整備、小児医療の充実を図る予定です。

内容としては、小児がんや小児白血病など感染症の対策が必要な子どもに対応するため、準無菌室や感染症対策を設けるとともに、在宅看護をしている家族が一時的に看護から離れられるように、一時入院できる「あずかり対応病室」の整備を進める予定です。

施策

①県は和歌山県難病・子ども保健相談支援センターにおいて、また、拠点病院等は相談支援センターにおいて、小児がん患者やその家族が地域で安心して暮らせるよう、相談支援の充実を図ります。

②県と県拠点病院は、小児がん医療体制の充実と近畿ブロック小児がん拠点病院との連携推進を図ります。

難病・子ども保健相談支援センター(子ども)相談状況 (平成23年度)
6 疾患群別相談件数(実数)

		難病等長期療養疾患														一般的な疾患	疾患名不明	疾患以外	合計
		悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	先天性疾患	その他の難病	小計				
面接	実	5	4	2	20	12	3	6	0	2	6	3	93	22	178	39	11	42	270
	延	12	7	2	36	14	4	7	2	2	16	3	124	44	273	44	15	48	380
電話	実	11	1	0	2	3	0	0	2	2	9	0	20	8	58	20	9	2	89
	延	24	1	0	16	9	1	2	5	2	28	0	42	44	174	32	2	13	221
合計	実	16	5	2	22	15	3	6	2	4	15	3	113	30	236	59	20	44	359
	延	36	8	2	52	23	5	9	7	4	44	3	166	88	447	76	17	61	601

5. 骨髄移植等の推進

現状と課題